

〈社会科〉 6年

「大田区学習効果測定」結果の分析

今年度の本校における平均正答率は、目標値を上回る結果となった。その内訳を見てみると基礎については7.4ポイント上回り、活用については15.5ポイント上回った。

〈知識及び技能〉

- ・目標値を7.3ポイント上回った。
- ・目標値を7.2ポイント上回った。「日本の農業」「工業生産と工業地域」に課題がある。

〈思考力、判断力、表現力等〉

- ・目標値を9.9ポイント上回った。「自動車をつくる工業」に課題がある。

〈学びに向かう力・人間性等〉

- ・基本的には社会的事象についての関心は高く、目標値を9.2ポイント上回った。

重点課題

〈知識及び技能〉

- ・年間を通した米作りの様子を資料と関連づけて考えることに課題がある。
- ・短答式の問題で目標値や前年度の正答率と比べ大幅に下がっている問題があり、用語の定着に課題がある。

〈思考力、判断力、表現力等〉

- ・日本の輸入品の変化について、その背景を複数の資料をもとに判断することに課題がある。

〈学びに向かう力・人間性等〉

- ・自分たちの生活と結びつきやすいものについては関心が高いが、「日本の農業」など自分たちの生活と結びつきにくいものには関心もちにくく、学習意欲も低い。

授業改善策

〈知識及び技能〉

- ・授業の中で、意図的に地図・年表、グラフや表等の資料の読み取り作業を取り入れ、児童の理解を深めていく。
- ・資料から読み取ったことを課題に沿って年表や白地図、関係図に整理して新聞やノートにまとめていく学習を取り入れていく。
- ・単元のまとめごと資料を自分で探し、ノートにまとめさせる。
- ・ワークシートで理解すべき内容をおさえたり、調べたことを発表する活動を設けたりして、知識や理解の確実な定着を図る。
- ・身に付けさせたい社会科用語を用いて学習のまとめを行う活動を日常化し、知識の定着を図る。

〈思考力、判断力、表現力等〉

- ・歴史上の人物を取り上げて学習し、その人物が歴史の中でどのような役割を果たしたか、また今の日本や日本人にどのような影響を与えているかを考えさせる。
- ・民主政治の働きを具体的事例に基づいて理解することによって、国民生活の課題を解決するための政治の仕組みについて捉えられるようにする。
- ・調べたことの要点や意味をまとめたり、自分の考えを明確にしたりする学習を繰り返し行うことで、表現する力を高める。

〈学びに向かう力・人間性等〉

- ・児童が歴史に興味をもてるよう、各時代を代表する人物の伝記、歴史的な出来事に関連する文化財、歴史についての視聴覚資料などを用いたり、また、歴史に関するエピソードを話したりするようにする。
- ・新聞資料を活用しながら時事的な話題を取り上げて興味関心を高め、歴史や政治、文化を身近に感じられるようにする。